

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田喜代史
淡河恵津世
西山 佳宏

編集後記

▶最近の放射線治療の動向をみていると、放射線治療は大きな変革期を迎えていて、今後3つの分野で大きく発展するように感じています。一つは、 α 放出核種による核医学治療、もう一つが超高線量率で行うFLASH radiotherapy、そして、不整脈をはじめとした良性疾患に対する放射線治療です。今回の特集は今後発展する可能性を秘めた分野のうちの一つ、難治性不整脈に対する定位放射線治療がテーマです。網野先生の論文「体外放射線照射による難治性心室不整脈の新世代治療」が示すように、いままで考えもしなかった“新世代治療”の登場です。2017年にDr. CuculichらがThe New England Journal of Medicine誌に5例の難治性心室頻拍への放射線治療成績を発表してから、この治療法は急速に注目を集めていますが、網野先生はそのメカニズムについても考察を加えておられます。稲葉先生は担当がん患者の心房細動に対する“放射線アブレーション治療”の経験を、岡本先生はサイバーナイフによる治療計画の詳細を解説されています。ただし、国枝先生のご指摘のとおり、「一見正常な部分に本治療を推進する合理的根拠は、対象とする心室性不整脈が極めて予後の悪い疾患であり、障害に比して期待も大きいことであるが、現時点ではあくまでも障害も効果も十分知られていない試験的な治療である」ことを認識しつつ、今後の展開を期待したいと思います。

▶さて、じめじめした梅雨が終わり、オリンピックの夏がやってまいりました。新型コロナウイルス感染拡大により、いろいろと話題の多いオリンピックとはなりましたが、“ウルトラC”が連発されていることを期待しております（ちなみに“ウルトラC”の語源は1964年の東京オリンピックだそうです）。

中村和正

「臨床放射線」第66巻第8号

2021年8月10日発行（毎月10日発行）

定価 2,860 円（本体 2,600 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 43,670 円（本体 39,700 円＋税 10%）

[年間13冊（臨時増刊号を含む）の誌代]

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600
FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。